

2 - 4 . 段階整備計画の検討

計画目標の達成のためには、長期に渡る基盤整備や多大な財政負担等が見込まれる。

財政環境の大幅な改善が望めない状況下においては、その目標達成に向けて、効果的・効率的な事業実施や、既存ストックの活用などにより各施策と連携を図りながら推進していくことが必要である。都市計画マスタープラン等上位・関連計画での位置付けや、各施策の実施状況等を考慮した上で、整備スケジュールを作成する。

段階的整備スケジュール

施策方針	交通施策		前期 19～20年	後期 21～25年
(1)体系的な道路ネットワークの形成	幹線道路の整備		→	
	ボトルネック箇所の解消(交差点改良、鉄道との交差の改善)	交差点すいすいプランに基づく交差点改良の整備	→	
		連続立体交差事業の推進	→	▨→
	鉄道立体化以外の対策の推進		▨→	→
	主要生活道路の整備		▨→	→
	環境に配慮した交通需要マネジメントの導入		▨→	▨→
(2)公共交通システムの充実	既存鉄道サービスの充実		→	▨→
	市民ニーズに合った利用しやすいバスネットワークの形成	都市計画道路整備等を機会としたバスルートの拡充	→	→
		コミュニティバス「はなバス」ルートの見直し	▨→	→
		新たな公共交通ルートの導入の必要性と運行可能性の検討		→
	バスサービスの向上	サイクルアンドバスライド用自転車駐車場の整備	▨→	→
		バスベイや右折レーンの設置など走行環境の改善	▨→	→
		主要バス停での待合空間の整備	▨→	→
		利用しやすい環境整備	→	
	高齢者、障害者等に対する移動支援のあり方の検討		▨→	▨→
	(3)交通結節点の整備	駅前広場の整備(ひばりヶ丘駅北口駅前広場、保谷駅南口駅前広場、田無駅南口駅前広場、西武柳沢駅北口駅前広場)		→
駅周辺の交通環境の向上対策 駅アクセス道路の整備 踏切改良の整備 生活道路のバリアフリー化 自転車駐車場の整備、放置自転車対策の推進		▨→	→	
(4)人と環境にやさしい歩行者・自転車交通施策の推進	歩行者・自転車ネットワークの整備		▨→	→
	駅周辺での自転車駐車場等の整備	自転車駐車場の整備	→	→
		既存ストックの有効活用	→	
		自動二輪車駐車場の整備		→
	放置自転車対策の推進		→	→
	自転車利用促進策の実施	レンタサイクルシステムの検討	▨→	→
自転車利用PR活の推進		→		

凡例： 協議・要請、 検討、 整備・実施

2 - 5 . 重点的施策の検討

(1) 重点的施策の抽出

重点的施策は、以下の3つの視点を基に抽出する。

【重点的施策を抽出する視点】

視点1：前期での整備が可能な施策

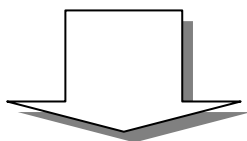
- ・実現までの協議・調整等に時間を要する施策よりも、長期的な施策の展開に向けて、前期施策の実施による効果を得ながら効率的に行うことが望ましい。
- ・新市建設計画におけるアクションプログラムや総合計画実施計画などがこれにあたる。

視点2：費用が比較的安く実施効果が見込める施策

- ・近年の景気低迷による市の財政状況等を考慮し、多大な費用を費やして長期的な施策を展開するよりも、費用が安くても実施効果が得られる施策を展開した方が望ましい。

視点3：完了が見込まれる事業、及び既存ストックを活用した施策

- ・施策の実現性をより高めるためには、完了が見込まれる事業、及び既存ストックを活用した施策が有効的で望ましい。



【重点的施策（案）】

都市計画道路の整備

- ・第三次事業化路線

ボトルネック箇所の解消

- ・交差点改良（第2次交差点すいすいプラン）

はなバスの見直し

ひばりヶ丘駅周辺のまちづくりの推進

ひばりヶ丘駅南口自転車駐車場の整備

自転車を活用したまちづくり

新市建設計画
(アクションプログラム)

総合計画実施計画
(3か年事業計画)



(2) 重点施策イメージ

重点施策を図にすると以下のとおりである。

イメージ図

